

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

## 図書館だより

No. 31  
2018.Oct.

The Oita Prefectural College of Arts and Culture Library Bulletin



表紙作品『TARALIA』 尾崎 勝也(2016年専攻科造形専攻修了)

成形合板を用いた木製履物の提案です。部材の弾性が歩を進めるごとに機能し、弾むような感覚を楽しむことができます。

## Contents

- ① 先生おすすめの一冊
- ② AV視聴コーナーへ行こう!
- ③ 学生選書ツアー
- ④ こんな本が新しく入りました
- ⑤ 新図書館の紹介

# 先生おすすめの1冊



美術科

幸島 伸

先生

## 『世界を、こんなふうに見てごらん』

日高 敏隆 著 460.4/H54

暖かみのある装丁に包まれた、きれいな本文デザインと平易な文章。動物行動学について語った本ですが、専門的な難しい印象を持たずに読みすすめることができます。 「人間はイリュージョンを持つ生きものなのだ」

冒頭でこう切り出した著者は、動物行動学者としての観点から、いきものとして存在する動物と人間の知覚世界について語っています。紫外線を感じする器官をもつモンシロチョウの視覚世界は人間に感ずることはできず、光と温度感覚・酪酸のにおい・触覚のみで知覚世界が構成される森に棲むダニにとって、木々の間を風が吹き抜け、鳥のさえずりが聞こえる環境は意味を持ちません。この世界に客観的な環境というもの存在せず、いきものはそれぞれの知覚的な制限のもとにつくられる、主観的な環境の中で生きています。世界は、そのような非常にたくさんの主観的な環境が重なりあってできていて、人間は人間のつくり出した概念的な世界、つまりイリュージョンという色眼鏡を通してしか、ものを見ることができないのです。

科学者でありながら科学を絶対のものとしてせず、「神であれ、科学であれ、ひとつのことにしがみついて精神の基盤とすることは、これまでの人類が抱えてきた弱さ、幼さ」と記したこの本著は、きっと今までと違うものの見方、世界のとらえ方に気づかせてくれると思います。

(こうじま しん/ビジュアルデザイン)



音楽科

松宮 圭太

先生

## 『森のうた』

岩城 宏之 著 762.1/I93

僕が皆さんにおすすめしたい本は、指揮者の岩城宏之が東京藝大音高時代の思い出を元に執筆した『森のうた』です。音楽青春物語という漫画『のだめカンタービレ』も面白いですが、この本は実話を元にひょうひょうと描かれた音大生レポで、抱腹絶倒のヒューマン・ドラマになっています。

学生時代は打楽器科で学んだ「イワキ」の目から見た作曲、指揮、ピアノ、弦、声楽、管打、楽理の各科の学内ヒエラルキーと民族的事情。ピアノ科の女の子に言い寄って「お父様にタイコの人なんかと友だちになっちゃいけないっていわれたのヨ」とフラれるイワキと「はんぺんみたいな顔」のくせにモテモテの作曲科エリート「ナオズミ」こと山本直純。

イワキとナオズミは、指揮への情熱のためにあらゆる軽犯罪を犯していきます。無賃乗車、蕎麦屋の無銭飲食、中身が空の楽器ケースを持参して関係者のフリをして楽屋から忍び込み演奏会を無賃視聴、などなど。そして、そんな二人を暖かく見守り、陰でひっそりと支払う師の渡邊暁雄の姿などには古き良き時代が彷彿とされます。

戦後間もない音楽学校を舞台に食欲に学ぼうとする二人、ただ指揮をしたいためにオーケストラを組織する行動力、ショスタコーヴィチの『森のうた』の演奏で締める感動のラストは必見です。

(まつみや けいた/作曲)





国際総合学科

高瀬 圭子  
先生

## 『中世ヨーロッパを生きる』

甚野 尚志・堀越 宏一 編 230.4/J52

高校生だった頃、世界史の先生に薦められて読んだ本がある。イギリスの歴史家アイリーン・パウアの『中世に生きる人々』だ。歴史の教科書に出てくるのは、王侯や偉人など「名のある」人物ばかりだが、どんな時代にも無数の「名もない」人々がいる。パウアは、そんな無名の人々の人生を、中世ヨーロッパの記録文書の中から掘り起こして描き出した。地道な研究から生まれたこの本は、過去の世界への近づき方を教えてくれた、自分にとって忘れ難い一冊である。

さて、そのパウアの書物を思わせるコンセプトで、より多彩な切り口から、現代日本の研究者が中世のヨーロッパに迫ったのが『中世ヨーロッパを生きる』である。本書で取り上げられているトピックをいくつか書き出してみよう。森、災害、衣服の色と文様、城と農家、母と子、遺言、楽師、巡礼と観光……トピックごとに完結しているので、どこから読み始めてもいい。旅先であちこち見て回るように本の中を自由に行き来して、想像力も動員しつつ中世の人々の生き方に触れてみてほしい。そして、書物の中とはいえ過去から現代に戻ってくると、それまでとは少し違う目線、違う距離感で身の回りの世界を見られるようになるのではないかと思う。歴史を知って、少し新しい自分を目指してみてください。

(たかせ けいこ／西洋史)



情報コミュニケーション学科

綾部 誠  
先生

## 『未来の年表2』

河合 雅司 著 334.31/Ka93

16年ほど前になりますが、ある大学の講座で「これからの日本は人口減少のために多くの問題が表出します」と話したとき、多くの学生の反応は、「そんな未来のことを、いま言われたって…」というものだったのを思い出します。それから月日は流れ去り、最近ではテレビや新聞などで毎日のように少子化や高齢化の課題・問題が取り上げられるようになってきました。今回は、学生の皆さんに「日本の将来の姿」をしっかりと理解して欲しいと思い、この本をご紹介します。

本書は、皆さんが就職する頃、バリバリと組織人として働いている頃、子どもを一生懸命に育てている頃、初めて所属部門の管理者になった頃、家を買おうかと悩んでいる頃、定年後の生活を考え始めた頃、親の体が衰えてきたなど感じる頃の「未来の日本」が、年代順にどのような状況にあるのかということを知り易く説明しています。

この本を読んでから、これからの時代を生きるのと、読まないで生きるとでは、大きく人生が変わってくると思います。またこれからの時代を生き抜くために欠かせない創造力、コミュニケーション力、マネジメント力を学習・体得できる学びの場が、この大学には沢山ありますから、自ずと授業への取り組み姿勢も変わってくる筈です。「日本の将来の姿」を頭の片隅で意識しながら、「今」という時期を大切に過ごすためにも手に取ってみてください。

(あやべ まこと／少子高齢社会論)





## AV視聴コーナーへ 行こう!



～音楽科 高田喜夫先生おすすめのディスク～

### 『ウエスト・サイド・ストーリー』 1961年アメリカ (Blu-ray、DVD)

20世紀フォックス・ホーム・エンターテイメント・ジャパン



先月の大分合同新聞に、現在、開催されている「第33回国民文化祭・おおいた2018」と「第18回全国障害者芸術・文化祭大分大会」において、創作ミュージカルが8本、上演されるという記事が掲載されていました。20年前の国民文化祭では1本の上演だったそうで、今回の上演数の多さを「快現象」という言葉で表現していました。また、大分県内の公共施設で開講しているミュージカルの講座にも毎回、多くの受講生が参加し、受付時にはキャンセル待ちが出るほどの人気とありました。

大分県内で盛んに取り組まれているこのミュージカルですが、元々は、ヨーロッパで盛んに上演されていたオペレッタがアメリカに持ち込まれ、誕生したとされています。さらに舞台上で演じられていたミュージカルが、映画化されることも多くあり、「サウンド・オブ・ミュージック」、「マイ・フェア・レディ」、「レ・ミゼラブル」、そして今回紹介する「ウエスト・サイド・ストーリー」などがその代表的な作品です。

ミュージカル「ウエスト・サイド・ストーリー」は1957年にブロードウェイで初演され、1961年にR. ワイズとJ. ロビンズによって映画化されました。映画は大ヒットし、第34回アカデミー賞に11部門ノミネートされ、10部門受賞しました。

シェイクスピアの「ロミオとジュリエット」が元になっていて、舞台はアメリカのニューヨーク西地区。ジェット団とシャーク団というグループが対立しています。ダンスパーティーの会場で、ジェット団のリーダーの友人「トニー」とシャーク団のリーダーの妹「マリア」が出会い、恋に落ちます。そしてこの二人がグループの対立を辞めさせようとはしますが……。

私の「ウエスト・サイド・ストーリー」オススメポイントは、ストーリー性や各場面で披露されるダンスはもちろんですが、やはり歌、音楽だと思います。わかりやすく、親しみやすい旋律やリズムカルな音楽は、この作品をさらに素晴らしいものにしています。この音楽を担当したのは、「レナード・バーンスタイン」というアメリカの作曲家です。彼は、作曲家としてだけでなく、指揮者、ピアニスト、教育者として活躍しました。ちなみに今年2018年は、彼が生まれて100年というアニバーサリーイヤーです。

特に聴いてほしい曲は、ダンスパーティーの中で流れる「Mambo」やトニーがマリアに出会った時に歌う「Maria」、さらに、トニーがマリアの家のバルコニーで会いそこで歌われる「Tonight」などです。また、作曲家自身がミュージカルの名場面をメドレーにしてオーケストラのみで演奏する「シンフォニック・ダンス」もオススメです。

音楽科の学生さんはもちろんのこと、クラシック音楽が苦手な人、オペラは堅苦しくてちょっと、という方はぜひ!



(音楽科 オーボエ/音楽教育 高田 喜夫)



### AV視聴コーナー利用ガイド

- ★AV視聴コーナーではオペラやクラシック、映画などの視聴覚資料が個別のブースで鑑賞できます。
- ★CDは貸出もしていますので、受付カウンターにて手続きをしてください。
- ★DVD等、一部資料は館内利用のみとなっています。複数(3人以上)で鑑賞をしたい場合は、グループ学習室をご利用ください。

# 学生選書ツアー

学生が図書館に置きたい本を選ぶ、本年度第1回目の「学生選書ツアー」を6月、大分市内の書店で行いました。選んだ本のうち参加者が特におすすめしたいものについてコメントを寄せてもらいました。今回選ばれた計82冊の本は、図書館入口の学生選書コーナーに並べていますので、ご覧になってください。



## 学生選書ツアーに参加して

情報コミュニケーション学科 1年 小野 悠奈

皆さんは本を読むとき、どんな風を読む本を決めますか？話題になっている本だから、好きな作者の新作だから、映画で見たことのある本だから、いろいろな理由があると思います。私は、あらかじめ決めていた本を読むことが多いのですが、図書館や書店の中をあちこち回って、タイトルや表紙に惹かれたものをその時の気分で読むことも好きです。

今回の選書ツアーでは半分はもともと読みたかった本、半分がその時に書店で出会った本というように選びました。実際に書店に行って手に取って本を選ぶと、普段は調べないような本に面白い本があっ

たりするなど、新しい発見がたくさんあります。

選書ツアーの後で行われた意見交換会では、それぞれ違ったジャンルの本を選んでいたり、そんな本があるんだ、読んでみたいと思う本がたくさんありました。普段は手に取らないような本を読むきっかけになるという点でも選書ツアーに参加してよかったと思いました。

皆さんも次回の選書ツアーに参加してみてもどうでしょうか。

## 参加者が特にすすめる本のコメント

専攻科造形専攻 1年 山中 智郎

『RED ヒトラーのデザイン』 松田行正 著 757.02/Ma74

ヒトラーは、なぜあのような独裁政治体制で扇動することができたのか。その背景には、アイコン化、広告、情報の統一、整理などを用いた、国家ぐるみのブランディングデザインがあった。人の心を掴むものを意図して作りだす、我々デザイナー志望にとって、伝えることを最重視した彼の政策から学ぶことは多いかもしれない。



『イスラム流 幸せな生き方』 常見藤代 文・写真 167/Ts77

日本人の宗教に対する嫌悪感には異常なものがある。特にイスラム教と聞くと決まりが多い、男性優先などの誤ったイメージを連想しがちだが、実は世界中で莫大に信者の増え続ける宗教である。彼らは、神を軸に生きることで、楽観性、無償の優しさを持つ。彼らの生活を覗いて、自身の余裕のなさ、窮屈さが見えてきた。



美術科 1年 笹山 真鈴

『ラクガキ・マスター』 寄藤文平 筆 725/Y84

絵を描いたことがない情コミ・国際・音楽科の学生から、絵を描くことにちょっとだけ疲れてしまった美術科の学生までおススメできるのが、この本です。線の引き方から構成の立て方、キャラクターの作り方などがゆるいイラストとともに楽しめます。めざせ！ラクガキ・マスター！



『ボタニカル・ライフ』 いとうせいこう 著 620.4/I89

庭で園芸をする人を「ガーデナー」と呼びますが、これはベランダで園芸をする「ベランダ」の手記です。さまざまな植物と著者の日常が、擬人法を用いながら面白おかしく描写されています。植物を見る目が変わるかも？ベランダと植物さえあれば誰でもなれる「ベランダ」。挑戦してみませんか？



『奈良美智自選集ドローイング』 奈良美智 著 723.1/N51

奈良美智の描く女の子はみんなみんな、かわいだけじゃない。かなしいの？うらしいの？さみしいの？おこっているの？大きな瞳の奥の繊細な感情に包まれて、見る人を不思議な気持ちに誘う。それはきっと、私たちが普段拾い忘れていたやさしい気持ちたちかもしれない。見つめられているのは、どっち？



『美しい変形菌』

高野文 写真 748/P15

キノコでもカビでもない、世にも不思議な生き物「変形菌」の世界に寄り道出来る一冊。奇怪で不思議でお洒落で美しく、かわいらしい変形菌。ミクロの生き物でありながら生態系を支え、さらに宝石のような姿形を身に纏う。そんな、すべての幸せを手に入れたような生き物が生きる、小さな小さな世界がある。



『ミニシアター巡礼』 代島治彦 著 778.09/D27

過去にミニシアターを経営していた著者が全国にあるミニシアターを巡る本です。シネコンでは上映されない一風変わった映画を見ることのできるミニシアターでは、それぞれ館長の熱い想いが込められているんだとインタビューを通して書かれています。大分にあるミニシアター「シネマ5」も登場しているので是非読んでみて欲しいです！



『歩くような速さで』

是枝裕和 著 914.6/Ko79

映画監督、是枝裕和監督によるエッセイ集です。日常のこと、映画のこと、役者のこと、メディア業界のこと、監督の考えなどを穏やかな文章で読みやすく書かれています。是枝監督作品が好きな人も見たことのない人も是非読んでみて欲しいです！



『天才棋士 加藤一二三 挑み続ける人生』

加藤一二三 著 796/Ka86

“ひふみん”という愛称で有名な加藤一二三九段は史上初の中学生プロ棋士で、18歳でA級八段になりました。「神武以来の天才」と呼ばれ、数々の記録を打ち立ててきた加藤九段の勝負、人生、そして家族について語り尽くされている一冊になっています。



『その犬の歩むところ』 ポストン・テラン 著 933.7/Te55

現代のアメリカを舞台にした物語で、どんな時代も傷ついた人々のそばに、いつも静かに寄り添っていた気高い犬、ギブ。心身ともに傷つきながらも善良な心を失わずに出会う人々救っていくギブの姿に心を打たれます。機会があれば是非一度、読んでいただけたら嬉しいです。



『ヒトは「いじめ」をやめられない』

中野信子 著 361.4/N39

「いじめ」について何故いけないとわかっているのにするのだろうか？と疑問を持っていました。この本では人の脳物質の視点から見つめています。ドーパミンなど少し聞き馴染みのない言葉が出てきますが、分かりやすく説明してくれるのでお勧めです。人の性質がわかればこれからの生き方も変えてくれるはずです。



『科学的に正しい英語勉強法』 DaiGo 著 830.7/D17

今まで、習ってきた英語を用いて話そうとしても話せないと感じたことはありませんか？私にはあります。英語の単語や文法を詰めても会話できない訳をこの本では説明してくれています。色々な勉強方法を読んできましたが、一番共感しました。もし、あなたが英語のコミュニケーションを望むのであればお勧めします。



『すべての神様の十月』 小路幸也 著 913.6/Sh96

日本には、八百万といっただくさんの神様がいます。この話には、貧乏神や疫病神、福の神、死神、九十九神など神話に比べ、身近な神様が登場します。もし私たちの日常に神様がまぎれてくらしたら？普通の生活にすこし不思議が混ざる心温まる短編集です。ちなみに私は、九十九神のお話が一番好きです。



『九十歳。何がめでたい』 佐藤愛子 著 914.6/Sa85

いぜん本屋で見かけて気になっていたために選びました。作者の佐藤愛子さんがとにかく面白い。やけくそ気味だったり、言いたい放題言っていたりと、私がイメージしていた“九十歳”のイメージを吹き飛ばされた気分になりました。勢いがあるって明るくて、読むとおなかを抱えて笑ってしまうようなエッセイです。



『優しい死神の飼い方』 知念実希人 著 913.6/C46

ホスピスを舞台とし、ひょんなことから人間界に派遣された死神が活躍する切なくも心温まるストーリーです。死を目前に控えた人間の後悔や未練、そんな複雑な感情を抱える人間の思いに寄り添いながら読むことができるので最後まで物語に引き込まれていきます。そして、最後の展開は誰にも予測できないと思います！



『確率捜査官御子柴岳人』 神永学 著 913.6/Ka37

天才数学者とある事件から署を転属させられた女性警官で紡がれるミステリーです。数学の中でも確率という新しい観点から事件を見ることにより、事件を解決に導こうと奮闘する物語です。また、物語を読んでいく度に色々なところで繋がっていくのでページを捲る手が止まりません！



# こんな本が新しく入りました

2018年4月～8月までの新着図書の中から学科の先生が選んだ資料を中心に一部ご紹介します

学科	図書ラベル	書名	著者	学科	図書ラベル	書名	著者
美術科	675.3/G42	アイデアスケッチ：アイデアを「醸成」するためのワークショップ実践ガイド	James Gibson [ほか] 著	音楽科	019.12/N86	東大読書：「読む力」と「地頭力」がいつきに身につく	西岡吉誠著
	675.3/V61	突破するデザイン：あふれるビジョンから最高のヒットをつくる	ロベルト・ベルガンティ著		375.763/Ka86	中学校新学習指導要領音楽の授業づくり	加藤徹也、山崎正彦著
	707/So36	ロードアイランド・スクール・オブ・デザインに学ぶクリエイティブ・メイキングの授業	ロザンヌ・サマソン [ほか] 編著		378.28/L23/1-2	手話の歴史：ろう者が手話を生み、奪われ、取り戻すまで 上・下	ハーラン・レイン著
	712.1/Ta84	近代日本彫刻史	田中修二著		763.2/So11	演奏と指導のハンドブック	クラウドティオ・ソアレス著
	712.53/H53	石を聴く：イサム・ノグチの芸術と生涯	ヘイデン・ヘレーラ著		764.7/Sh36	ジョン・レノンは、なぜ神を信じなかったのか：ロックとキリスト教	島田裕巳著
	727/G95/34	デザインのひきだし 34	グラフィック社編集部編		767.8/Ki41	K-POP：新感覚のメディア	金成孜著
	757.3/Sa47	配色アイデア手帖：めくって見つける新しいデザインの本	桜井輝子著		B8.42/Tom/AL 1/4-4/4	Trois pastorales pour 3 flûtes en Ut	Henri Tomasi
国際総合学科	007.609/Y38	Pythonによるテキストマイニング入門	山内長承著	情報コミュニケーション学科	007.3/Y16	IoTの基本・仕組み・重要事項が全部わかる教科書	八子知礼 監修・著
	361.5/Ki62	社会にとって趣味とは何か：文化社会学の方法規準	北田暁大、解体研編著		140/Ki93	時間を忘れるほど面白い人間心理のふしぎがわかる本	清田予紀著
	368.4/Ki24	ポストコロナリズムとジェンダー	菊地夏野著		366.11/Y61	働き方改革の経済学：少子高齢化社会の人事管理	八代尚宏著
	389.2/Ka84	アジアから観る、考える：文化人類学入門	片山隆裕著		338/N93	入門ビットコインとブロックチェーン	野口悠紀雄著
	673.97/Ku45	ミシュラン三つ星と世界戦略	国末憲人著		350.1/St8	グラフで9割だまされる：情報リテラシーを鍛える84のプレゼン	ニコラス・ストレンジ著
	796.9/Ka78	Deep thinking：ディープ・シンキング：人工知能の思考を読む	ガリリ・カスパロフ著		493.758/Ma79	フレディの遺言	フレディ松川文；こころ美保子 絵
	778(J)/Hi	蝸ノ記 [映像資料]	小泉義史 監督・脚本		775/Mi	Miss Saigon = ミス・サイゴン [映像資料]	ブレット・サリヴァン監督
図書館	019.04/Ke44	読書という荒野	見城徹著	図書館	674/W94	毎日読みたい365日の広告コピー	WRITES PUBLISHING編
	159.4/A25	世界の超一流に学ぶズバ抜ける力	相川秀希著		723/N39	美貌のひと：歴史に名を刻んだ顔	中野京子著
	312.53/L71	24歳の僕が、オバマ大統領のスピーチライターに?!	デビッド・リット 著		816/Ko24	20歳の自分に受けさせたい文章講義	古賀史健著
	507.2/I52	楽しく学べる「知財」入門	稲穂健市著		950.28/Y66	誰が星の王子さまを殺したのか：モラル・ハラズメントの罠	安富歩著

図書館職員注目の一冊

## 『ローマ法王に米を食べさせた男』

地域活性化の命題を与えられた著者が、前例・常識にとらわれないアイデアを反骨精神をもって実行していく姿に感動します。「可能性の無死は最大の愚策」をモットーに失敗を恐れずとりあえずやってみようとする行動力は、若い皆さん方がこれから社会に出ていくうえで参考になると思います。(さんのみや)

高野誠鮮 著  
318.6/Ta47



## 『文豪たちの友情』

著名な文豪たちのそれぞれの友情をテーマに、彼らの人生や関係性をまとめたエッセイ集。恋人よりも親友を大切にしていたり、驚くほど強烈に相手を批判したり。お互いにあてた手紙や、相手を評価する文章から、彼らの性格や人生が垣間見えます。作家らしい表現や比喻に、思わずクスッと笑ってしまいます。(たかとう)

石井千湖 著  
910.26/I75



## 『気が遠くなる未来の宇宙のはなし』

100万年スケールのことを「もうすぐ」と言う天文学者。何とも壮大な世界を探求しているのです。本作は「眠れなくなる宇宙のはなし」シリーズの第3弾です。あまりにも遠い未来すぎて、私達には想像もできない世界に思わずクスッと笑ってしまうかもしれませんよ。(うじま)

佐藤勝彦 著  
440.4/Sa85



## 『須賀敦子エッセンス 1 仲間たち、そして家族』

編集した湯川豊は、この本を、須賀敦子に出会うための本にしたい、と書いています。須賀敦子の魅力の入り口であり、魅力の核心部分でもある本にしたいと。1は「仲間たち、そして家族」、続く2は「本、そして美しいもの」。2冊に編まれた文章は、やさしく心が通る、流れるような語り口です。ゆっくり何度も読みたいです。(くどう)

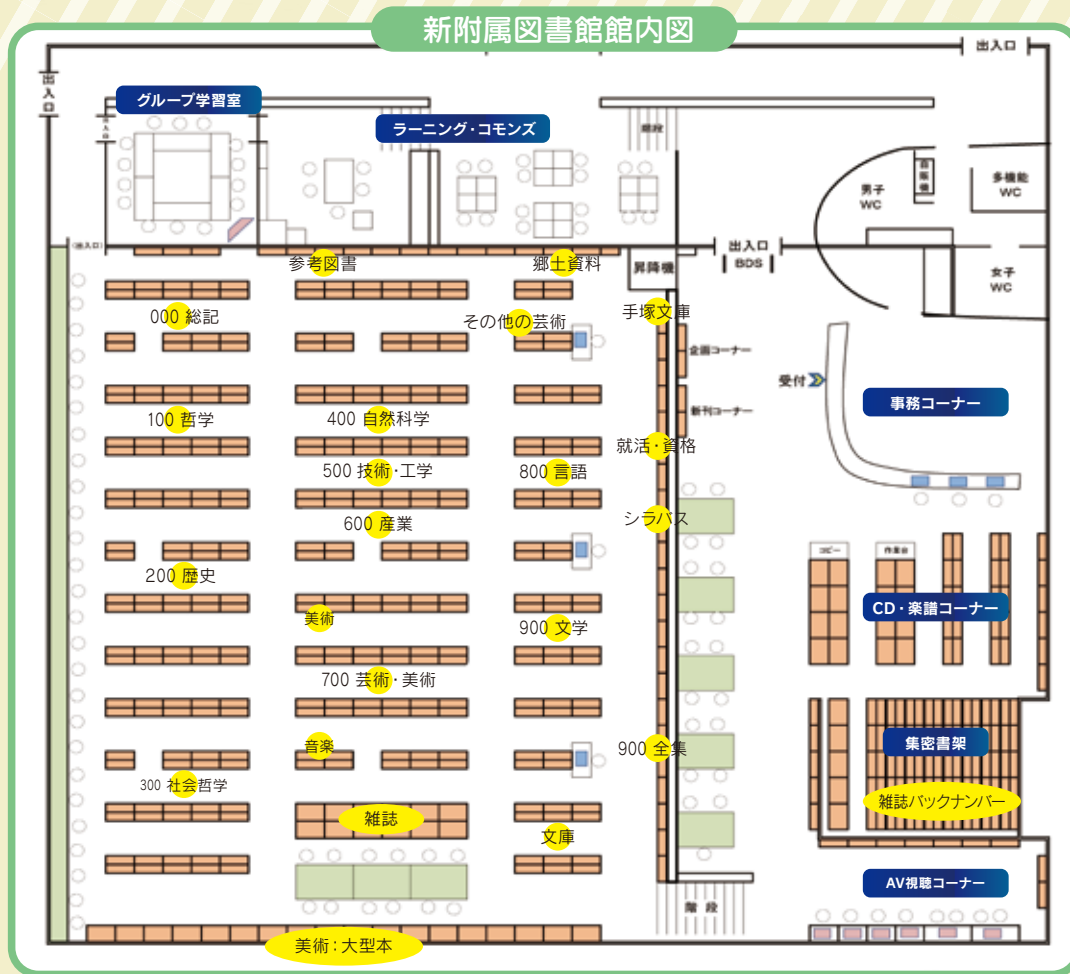
湯川豊 編  
914.6/Su21/1



# 新附属図書館 OPEN!

平成30年9月25日(火)に新附属図書館が開館しました。県産材を豊富に使用した、落ち着いた空間となっています。ぜひ、来館ください。

- ・BDS(磁気装置)の導入により、カバン等の持ち込みが可能になりました。
- ・開架書架がワンフロアとなったため、より利用しやすくなりました。
- ・学習のためのスペースであるラーニング・commonsを新設しました。学生の皆さんが自由に活用できる、会話が可能なエリアとなっています。



本や楽譜などの資料の  
購入リクエストはMyOPACの  
から受付しています!

ただし、ライトノベル等当館の収書方針に合わない資料は購入を見合わせています。  
まずはリクエストを送ってみてください!



ほん太

大分県立芸術文化短期大学附属図書館  
図書館だより No.31

発行日 2018年10月20日発行  
編集・発行 大分県立芸術文化短期大学 附属図書館  
〒870-0833 大分市上野丘東1番11号  
TEL・FAX (097) 545-4235  
<http://www.oita-pjc.ac.jp/library/>  
図書館キャラクターデザイン: 若杉郁子